

施策番号	1301		
施策名	市民ぐるみ・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり		
概要	社会のあらゆる場で子どもたちを共に育む実践の輪が広がるよう「子どもを共に育む京都市民憲章」の普及促進に取り組むとともに、全市・行政区・地域の各レベルの子育て支援ネットワークの連携の強化と協働した取組の展開を図る。		
担当局・部室	保健福祉局・子育て支援部	共管局・部室	
上位政策	13 子育て支援		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市未来子どもプラン		

施策の評価

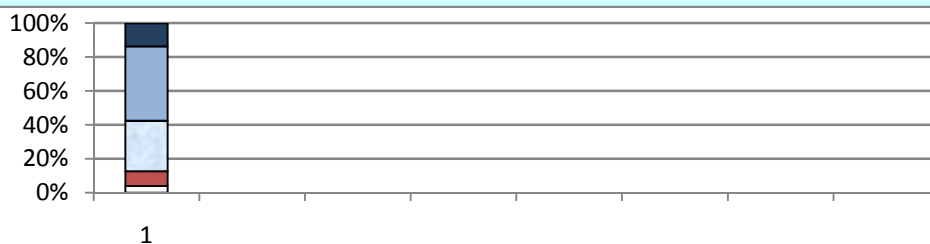
1 客観指標評価

指標名		年度	年度	23年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	京都やんちゃフェスタ(第1部・第2部)参加人数(人)	-	-	48,300	50,000	48,300	103.5%	a	1.00
2	子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)実施箇所数(箇所)	-	-	20	23	23	100.0%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
				客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		23年度回答						
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	子どもの見守り活動など、身近な地域で子どもとの交流 や子育て支援の取組が進んでいる。	77	247	167	49	23	563	b
		13. 7%	43. 9%	29. 7%	8. 7%	4. 1%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						b



- そう思う
- どちらかと言とうとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言とうとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	b	
(重み付けの理由) 対象者が子育て世帯という限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。						年度 -
(原因分析) ・やんちゃフェスタでは、過去最高を上回る市民の参加があり、つどいの広場についても、初めて市営住宅の施設を活用して設置するなどして新規開設に努めたことから、目標を達成できた。 ・このような地域ぐるみの子育て支援に関する気運の高まりや環境づくりによって、市民の実感では、半数以上の方に取組が進んでいると感じていただいた。						年度 -

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	民営保育所地域活動事業	28,774	34,180	普通	保健福祉局
2	子どもネットワーク運営	88,971	93,348	良い	保健福祉局
3	地域子育て支援ステーション	42,998	43,708	かなり良い	保健福祉局
4	子どもを共に育む京都市民憲章の推進	14,740	12,985	かなり良い	保健福祉局
5	京都やんちゃフェスタ	11,048	11,062	かなり良い	保健福祉局
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・やんちゃフェスタなどを通じて、「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念を市民生活の中に浸透させ、実践行動の輪が広がるように取組を進める。
・近隣に児童館のない地域などにつどいの広場の新規設置をすることにより、子育て支援ネットワークをより充実させて、地域において子育てを支え合うまちづくりを進めていく。

施策名	1301	市民ぐるみ・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり				
指標名	京都やんちゃフェスタ（第1部・第2部）参加人数（人）					
担当課	児童家庭課		連絡先	2 5 1－2 3 8 0		
1 指標の説明						
子育てに関する機関・団体、企業や学生などが一堂に会し、子育ての楽しさや子どもたちの輝きを実感できるイベントへの参加者数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
市民ぐるみで子育てを考える場の活性化状況を示す指標			参加者数概数			
4 数値						
	前回数値 21年度	最新数値 22年度	推移	目標値		
				数値	根拠	
数値	48,300	50,000	1,700人増	48,300	過去3年間の最高値	
					達成度	
					103.5%	
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		
				根拠		
数値						
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新の数値が a：過去3年間の最高値以上 b：過去3年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間 c：過去3年間の上中間と平均値の間 d：過去3年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間 e：過去3年間の下中間以下			過去3年間の数値を基に、過去3年間最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：48,300（平成21年度） 平均値：46,650 最低値：45,000（平成20年度）			
					23	
					a	

指標名	子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）実施箇所数（箇所）				
担当課	児童家庭課		連絡先	2 5 1－2 3 8 0	
1 指標の説明					
子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）の実施箇所数 ※子育て支援活動いきいきセンター…主に乳幼児（0～3歳）を持つ子育て中の親とその子どもが気軽に集い、交流を図るとともに、育児相談などを行う場所（施設）					
2 指標の意味			3 算出方法・出典等		
身近な地域で子育て親子が交流する場の充実状況を示す指標			算出方法：当該年度末の実施箇所数 出典：事業担当課調べ		
4 数値					
	前回数値 21年度	最新数値 22年度	推移	目標値	
				数値	根拠
数値	20	23	3箇所増	23	平成21年度現況値（20箇所）と平成26年度目標値から、各年度の目標を等差的に算出
					達成度
					100.0%
	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
				根拠	
数値		35	26年度		京都市未来こどもプラン
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果
該当年度の実施箇所数が a：新規実施3箇所以上 b：新規実施2箇所 c：新規実施1箇所 d：増減なし e：減少			「京都市未来こどもプラン」で掲げる平成26年度までの目標数値（35箇所）を達成するためには、各年度平均3箇所の新規実施が必要であるため。		
					23
					a